



# 「日本庭園・相楽園」との 地域連携協力活動 2025 1

## 相楽園「にわのあかり」／イルミネーション & コンサート

### ライブ・コンサート

大学のから機材を搬出し相楽園へ移動。2日間にわたり、音響機材のセッティングや、LEDイルミネーションの設置などし、本番準備を進めました。

Nayuさん、Risaさんによるソロ・コンサート、そして渡辺卓也先生・中島康二先生による「夢のコラボ」。

NayuさんとRisaさんは、本学の卒業生（合併前の神戸山手短期大学）です。

Nayuさんはシンガーソングライターで、ピアノ弾き語りによる美しい澄んだ声の持ち主です。この日は岡本先生作曲の Nayu オリジナル曲「ずっと」も披露されました。

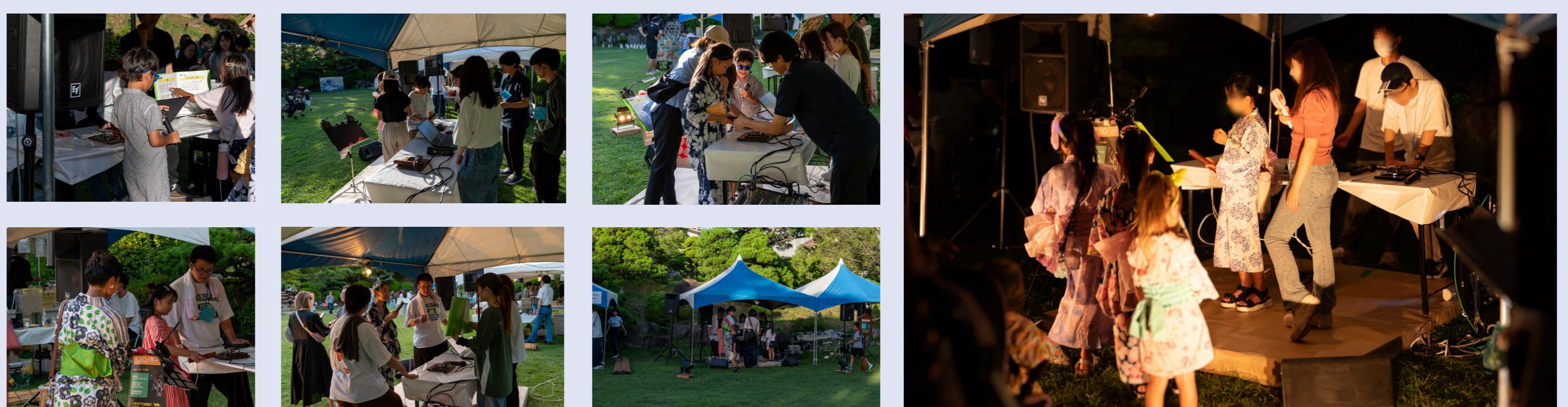
Risaさんもシンガーソングライターで、ギターの弾き語りによる力強い歌声が特徴です。

それぞれオリジナル曲や、会場に来られた様々な年齢層のお客さんにも楽しんでもらえるような多彩な曲を熱唱し、イベントを大いに盛り上げてくれました。



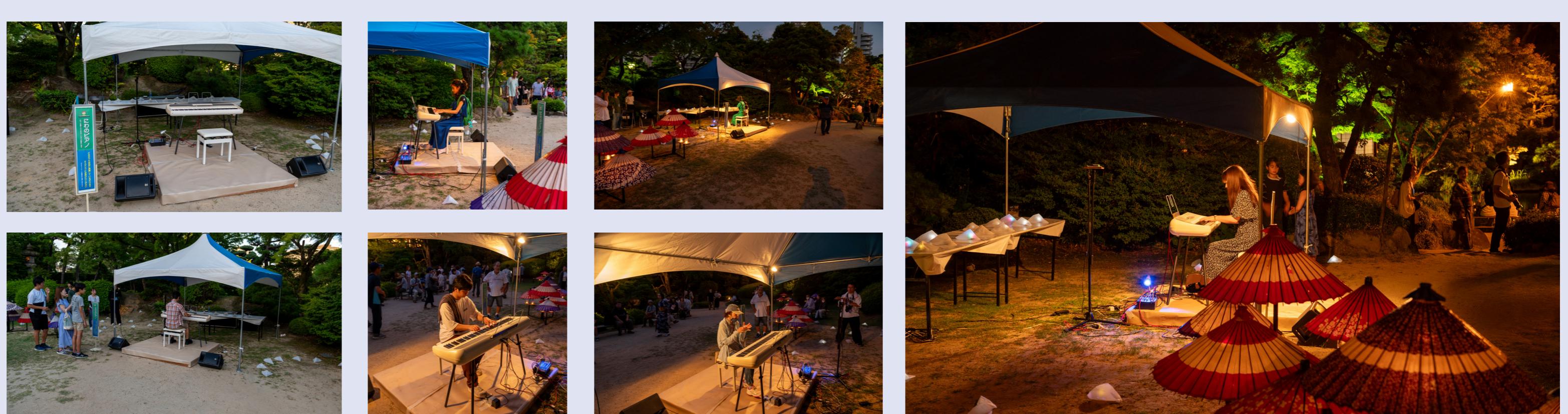
### ボカロ・バー

子供から大人まで、多くの方が「演奏」に挑戦してくださいました。スタッフも事前に練習を重ね、上手な演奏の仕方をしっかりと「伝授」することができました。



### にわのピアノ

ピアノ演奏の音の高さや強さに従い、約 50 台の LED 装置は赤・オレンジ・黄・緑・青・紫など様々な色に変化しました。またそれらの装置はトレーシングペーパーで覆うことで、やさしく幻想的な光の演出を行うことができました。



### スタッフ資料

イベントに際しては、様々な資料の準備が必要です。イベントの全体像、時間予定や役割分担、セトリ（セットリスト）など、イベント進行に必要なすべてのものを用意し、参加者全員で共有します。

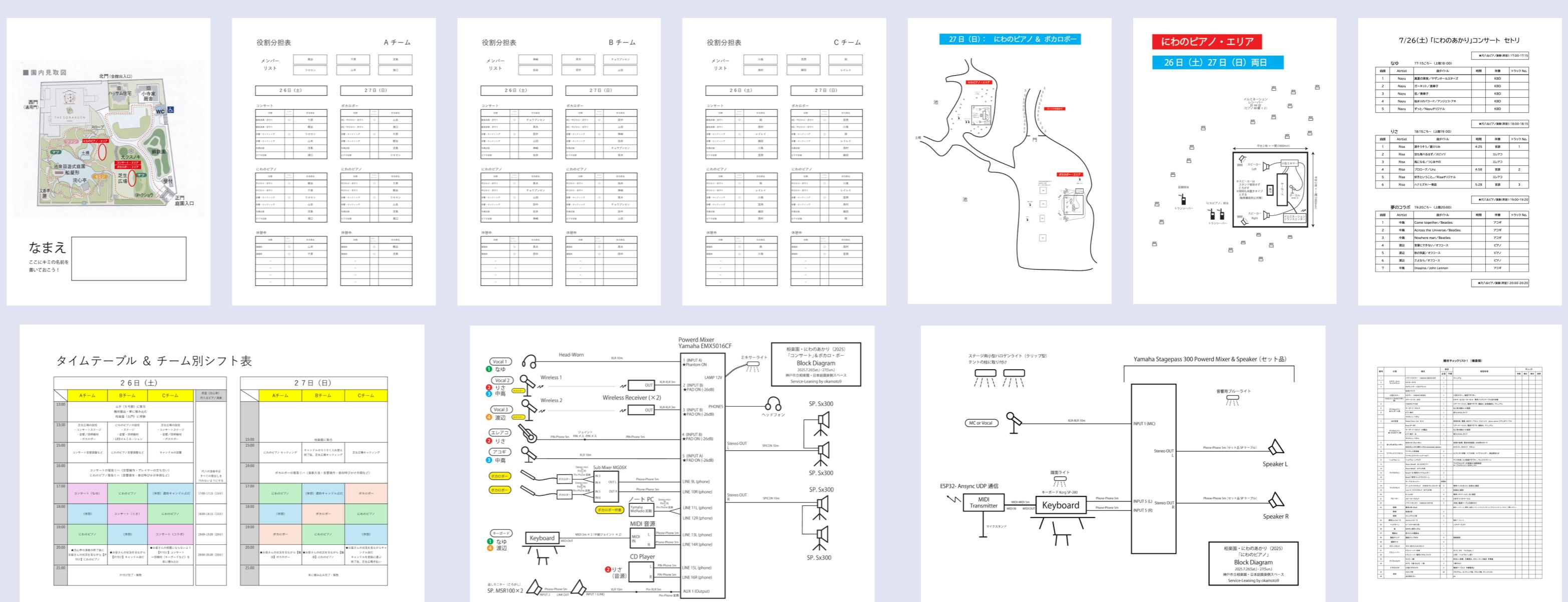
ブロック図（ブロックダイアグラム）は、コンサートを実現するための大切な「設計図」のひとつです。コンサートに必要な機材をすべて洗い出し、機器同士の接続を確認しまとめます。

セッティング図もなくてはならないものです。実施スペースに合わせ、機材や椅子などの配置を検討していきます。

プログラムやブロック図がまとまった段階で、機材チェックリストを作成します。たったひとつのものがないだけで、イベントが行えなくなることもあります。

このような図面や資料を用意することではじめて、イベントを円滑に運営することができるようになります。

※ここではスタッフ資料の一部を掲載しています。



### ふりかえり（「ふりかえりアンケート」より一部抜粋）

普段参加したことなかったこのようなイベントの裏側では、どうなっているのかを体験できた。

この授業を通して、舞台づくりの裏側を初めて体験することができ、とても貴重な経験になりました。

授業だけでは本番にちゃんと動けるのかと不安だったが、思ったよりもちゃんと動くことが出来てよかったです。普段こういった経験をすることは無いので色々な作業や空気感を味わうことが出来て新鮮だった。

協力して準備や計画をするのは大変だけど楽しかった。協力して行うことの大切さが学べた。準備や接客、協力することを通してこの先活かせるものを沢山学べた活動だった。

本番では、イベントのスタッフとしてお客様と関わった経験が良かった。

一つのイベントの1つのコーナーのために、準備すべきことが多いこと。強力してもらう、人を動かすには資料をしっかりと作り、情報を共有を大切にすると円滑にイベントを進めることができると学べた。

本番で計画通りに行き切れるか、とても不安なことも多かったが、同じチームの人と協力したり、先生からたくさんのアドバイスをいただき、とてもやりがいがあった。

普段お祭りやイベントは客側として参加するので、こういった現場の裏方というのを知らなくて新鮮でした。

チームで協力することの大切さを学びました。

毎週の授業や本番で、長々とするのではなくテンポよく物事を進行して貢献したことがとても良かったです。打ち合わせの期間があまりなくぶつつけ本番になってしまい、当日どうなってしまうんだという不安は多少ありました、艦機応変で柔軟な対応を求めるイベントスタッフという所を体験できたところがとても楽しかったです。

音響について学べることがないので、マイクの音の確認の時は叩かずにしてことや、アーティストのマイクの距離で音量を調整することなど、知らないことをたくさん学べることが出来た。

仕方のない事だが授業回数が少なかったため、現地に行って上手く設営できるか不安だったが先生がきちんと指示してくれたので不安が解消されて興味開心を持ちながら作業することができた。

“体力的にはしんどかったけど、すごくやりがいを感じた。”

地域の人や小さな子供の笑顔を見るのが楽しかった。”

トランシーバーでの連絡やスケジュール通りに進めなければ苦情がくるなど、イベントを運営する上の注意点を学ぶことができた。

面白いですね

授業は短い期間で自分も休むことがあったので準備不足だなって自分で実感することもありましたが、それでも学科学年関係なく多くの人と同じ目標のために協力出来たことが楽しくてよかったです。リハーサルの時、音響に対して難しいなと思っていた時にも優しく教えて下さり助かりました。本番では多くの人を誘導したり、ボーカロキーを教えることになったのですが、説明が難しいなと思うからでもうとにかく楽しめるように言葉を選びました。

裏方の仕事って今まで知らなかっただけ沢山のことをしているんだなと感じた。

あまりスマーズではなかった

#### 参加者（学科・学年・学生名簿順）

■心理学科  
4年生 高木 想納  
2年生 堀川 波一  
川島 秀斗  
穂積 翼真  
田衣 芭実  
鏡田 沙希  
西村 音慈  
佐野 紗影  
濱口 莉里花  
宮西 美羽  
山本 莉世

■社会学科  
2年生 越文 静  
1年生 LI SHIXIAN  
真美 瑞穂  
田中 树  
山田 龍之介

■指導教員（社会学部）  
岡本 久  
中島 康二